

目 次

諸外国における 20kV 架空級配電の実情

配電方式専門委員会
20kV 級配電分科会

委員会組織	(1)
第1章 総論	(3)
1-1 はしがき	(3)
1-2 質問事項	(3)
1-2-1 わが国の実状に関する紹介	(3)
1-2-2 質問事項	(6)
1-3 質問状発送状況と回答回収	(6)
1-3-1 質問状発送状況	(6)
1-3-2 回答の回収	(6)
第2章 回答の内容	(8)
2-1 20kV 級架空配電線の電圧と形状	(8)
2-1-1 回答結果	(8)
2-1-2 系統電圧	(8)
2-1-3 配電方式	(10)
2-1-4 適用地域と形状	(10)
2-2 電線路	(10)
2-2-1 電線	(10)
2-2-2 支持物と装柱	(12)
2-3 変圧方式	(16)
2-3-1 配電塔	(16)
2-3-2 変圧器	(17)
2-3-3 変圧器の騒音強度に関するドイツの規格	(20)
2-4 保護	(21)
2-4-1 変電所および配電線の保護	(21)
2-4-2 自動再閉路	(21)
2-4-3 線路のループ	(22)
2-4-4 断線保護	(22)
2-4-5 事故数	(22)
2-4-6 変電所、配電線の保護の例	(23)
2-5 保守と基準	(25)
2-5-1 活線作業	(25)
2-5-2 基準	(25)
第3章 総括	(27)
3-1 回答結果の主要事項	(27)
3-2 その他とむすび	(28)
付録Ⅰ 1kV 以上の架空線路の建設についての規定(ドイツ)よりの抜粋	(29)
付録Ⅱ 20kV までの鉄筋コンクリート柱の規格(ドイツ)の紹介	(42)
付録Ⅲ 軽構造木柱上高圧単回線架空線路仕様書(イギリス)よりの抜粋	(48)

付録Ⅳ	30kV 級線路の装柱例	(55)
付録Ⅴ	中電圧架空送電線の短時間しゃ断に対する指標よりの抜粋	(59)
付録Ⅵ	強電機器の運転に関する規定よりの抜粋	(63)
付録Ⅶ	油入自冷式変圧器の規格よりの抜粋	(68)
付録Ⅷ	イギリスとカナダにおける活線作業例の紹介	(69)
電気協同研究会の動き		(74)